

エコアクション21



®環境省

エコアクション21
認証番号 0004037

環境経営レポート

第 15号



土木工事・配管工事・舗装工事



株式会社 岩建

発行：令和5年10月1日

(期間 令和4年7月～令和5年6月)
(対象事業所 本社)

目 次

表紙	対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日
目次	(1)～(13)
(1).	組織の概要
(2).	エコアクション21の実施体制及び認証概要
(3).	環境経営方針
(4).	中期環境経営目標 及び実績(1)(電力・都市ガス・ガソリン)
(5).	中期環境経営目標 及び実績(2)(軽油・一般廃棄物・産業廃棄物)
(6).	中期環境経営目標 及び実績(3)(水・CO ₂)
(7).	環境経営計画と実施・評価(2022年7月～2023年6月)
(8).	主要な環境経営計画の概要
(9).	取組結果の評価と次年度の取組内容
(10).	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無
(11).	環境上の緊急事態への準備及び対応
(12).	代表者による全体評価と見直しの結果
(13).	次年度の環境経営目標及び環境経営計画(2023年7月～2024年6月)

組 織 の 概 要

(1) 事業者及び代表者

株式会社 岩 建
代表取締役社長 岩田 初彦

(2) 所在地

本 社 〒417-0061 静岡県富士市伝法274

(3) 事業の内容

建設業(配管工事、土木工事、舗装工事)
産業廃棄物収集運搬業

(4) 事業の規模

創立年月日 昭和40年6月
資本金 1000万円
事業年度 7月～6月

活動規模	2022年度(R3.7～R4.6)	2023年度(R4.7～R5.6)	2024年度(R5.7～R6.6)	2025年度(R6.7～R7.6)	2026年度(R7.7～R8.6)
工事件数(件)	115	50			
収集運搬量(トン)	1780.17	2030.31			
完成工事高(百万円)	382	397			
従業員 (人)	24	25			

(5) 施設の状況

収集運搬車両: ダンプ 3t 6台
土木用重機 : 油圧ショベル 3台



(6) 許可書の状況

①建設業許可

許可番号		建設業の種類	許可年月日	有効期限
静岡県	(一般)23975	土木工事業、とび・土工工事業、管工事業 ほ装工事業、水道施設工事業	R2.9.30	R7.9.29

②産業廃棄物収集運搬業許可(積替 保管 無)

許可番号		産業廃棄物の種類	許可年月日	有効期限
静岡県	2201079475	※1廃プラスチック類、金属くず、※1がれき類、 紙くず、木くず、繊維くず、※1ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず	R3.12.17	R8.12.16

※1.石綿含有廃棄物を含む

(7) 認証・登録範囲

全組織(本社)全活動、全従業員を対象としております。

(8) 産業廃棄物の処理料金

処理料金については廃棄物の種類、量、運搬距離によって見積致します。

エコアクション21実施体制・認証概要

認証登録日 2009年8月12日

認証更新日 2023年8月12日

環境問題関連責任者

環境経営管理責任者及び連絡先

連絡先 TEL 0545-53-1255(代) FAX 0545-53-1258

E-mail iwaken @crest.ocn.ne.jp

代表取締役 社長

岩田 初彦

EA21責任者

岩田 実穂

EA21事務局アシスタント

吉田 伊津美

EA21事務局

細川 昌代

本社(土木部)

K・S

本社(配管部)

U・H

事務所

O・N

現場

K・K

Y・M

現場

O・H

従業員 1名

従業員 11名

従業員 3名

EA21推進役職	役割・責任・権限
代表取締役 社長 岩田 初彦	1 環境経営方針の策定 2 経営資源の準備 3 代表者による全体の評価と見直し 4 効果的な運用を図る為体制の見直し 5 環境への取組を適切に実行する為に資源を導入する。 6 経営の課題とチャンスの明確化
EA21責任者 岩田 実穂	1 EA-21システムの確立、実施推進 2 環境への負荷および取組への自己チェック 3 環境経営目標及び環境経営活動計画の策定 4 環境経営活動レポートの作成 5 代表者に代わって指示する。
EA21事務局 細川 昌代	1 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 2 教育、訓練計画の策定と実施 3 緊急時対応訓練推進 4 環境経営文書及び記録の作成、管理
EA21事務局アシスタント 吉田 伊津美	1~4 EA事務局 5 EA事務局のサポート、バックアップ
本社(土木部) K・S	1 環境経営活動計画の実施 2 問題の是正処置 3 社員全員に周知する
本社(配管部) U・H	1 環境経営活動計画の実施 2 問題の是正処置 3 社員全員に周知する



環 境 経 営 方 針

環境経営理念

株式会社 岩建は、土木工事と配管工事の事業を通じて人と環境にやさしい会社を目指し、全従業員が事業活動のあらゆる面で地球環境に影響を与えることを自覚して、この雄大な世界遺産である富士山を次世代に引き継ぐため、社員一丸となって、環境保全活動に取り組めます。

環境経営方針

- 1、当社の建設事業活動において、環境に配慮した施工 新工法を推進し目標を定め自主的 積極的に環境負荷を削減して、環境保全システムの継続的改善に取り組めます。
- 2、使用エネルギーの削減による二酸化炭素の削減に努めます。
 - (1) 電力・ガス使用量の削減
 - (2) 建設現場での重機・車輛及び収集運搬車の燃料使用量の削減
 - (3) 車輛、重機を排気ガス基準適合車及び燃費基準達成車に入替
- 3、一般廃棄物削減及び産業廃棄物リサイクルの推進に努めます。
- 4、節水活動による水使用量の削減に努めます。
- 5、主業務であるガス管工事での水道管破損の減少に努めます。
- 6、植木等生態系に配慮した施工に努めます。
- 7、地域社会貢献のためボランティア活動に参加いたします。
- 8、事業活動に伴う環境法則制を遵守するとともに、行政・顧客・社員 地域等の環境コミュニケーションを推進します。
- 9、購入品のグリーン調達に努めます。



2008年7月1日制定
2011年7月1日改定
2014年7月1日改定
2015年7月1日改定
2021年7月1日改定
2022年7月1日改定

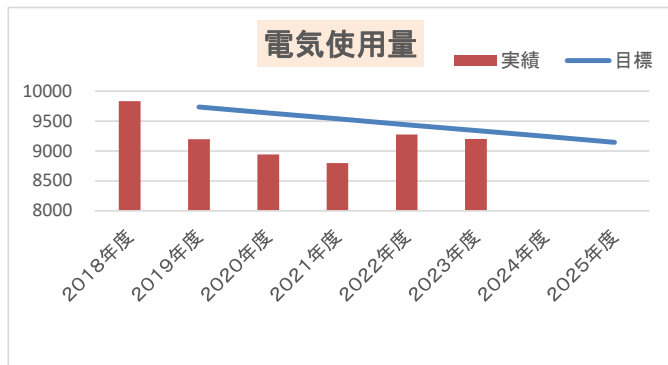
株式会社 岩 建

代表取締役 岩田 初彦

中期環境経営目標及び実績-1

		総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
電力使用量	目標	kWn		9734	9635	9537	9439	9340	9242	9144	9045	< 負荷の取りまとめ表 >
	実績	kWn	9832	9197	8943	8798	9276	9200				
原単位	目標	総量/売上高		20.45	20.25	20.04	19.83	19.63	19.42	19.21	19.01	
	実績	総量/売上高	20.66	21.29	22.19	22.67	24.28	23.17				

〈2023年度〉

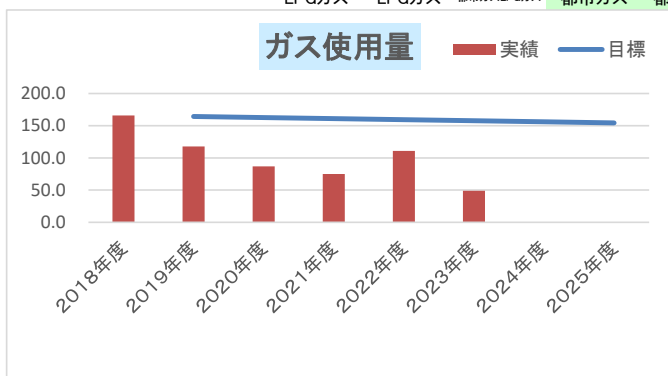


未使用時の消灯や昼休みの消灯、空調温度の管理が更に定着しています



		総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
ガス使用量	目標	Nm ³		164.3	162.7	161.0	159.4	157.7	156.0	154.4	152.7	< 負荷の取りまとめ表 >
	実績	Nm ³	166.0	118.0	87.0	75.0	111.0	49.0				
原単位	目標	総量/売上高		0.35	0.34	0.34	0.34	0.33	0.33	0.33	0.32	
	実績	総量/売上高	0.35	0.27	0.22	0.19	0.29	0.12				

LPGガス LPGガス 都市ガスLPGガス



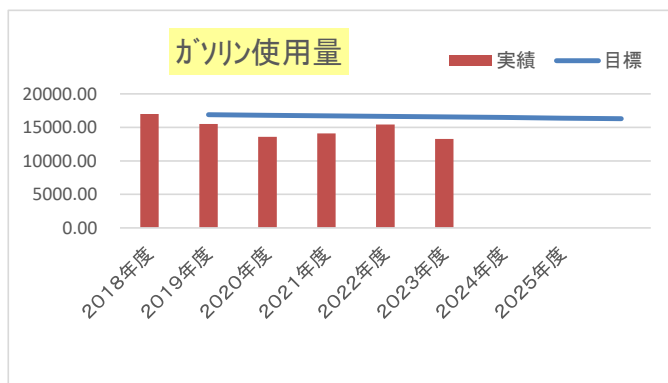
〈2023年度〉

2015年事務所移転後 都市ガスからLPGガスに移行となる。2017年1月から都市ガスに再移行となった。2018年度から都市ガスのため目標値の変更となります。

ガス使用量は2018年度166.0を基準とします。原単位は0.86を基準とします。



		総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
ガソリン使用量	目標	L		16892.93	16808.04	16723.15	16638.26	16553.37	16468.49	16383.60	16298.71	< 負荷の取りまとめ表 >
	実績	L	16977.82	15516.60	13605.85	14111.93	15435.78	13282.27				
原単位	目標	総量/売上高		35.49	35.31	35.13	34.96	34.78	34.60	34.42	34.24	
	実績	総量/売上高	35.67	35.91	33.76	36.37	40.41	33.46				



ガソリン使用量については、目標値を見直した結果 2018年度より0.5%削減を目標としました。

〈2023年度〉

アイドリングストップやエコドライブはまだ課題がある。社員教育の中に取り入れてもっと向上できるように努めたい。



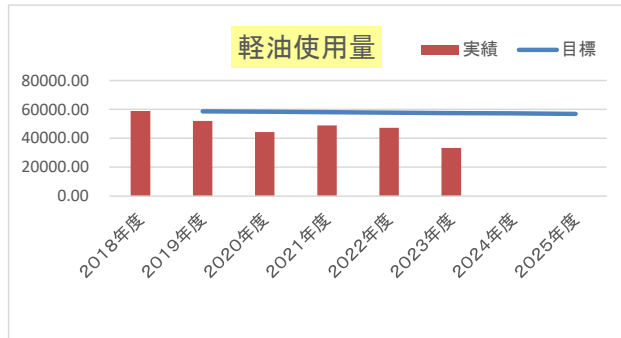
中期環境経営目標及び実績-2

			2018年度 -0.5%	2018年度 -1%	2018年度 -1.5%	2018年度 -2%	2018年度 -2.5%	2018年度 -3%	2018年度 -3.5%	2018年度 -4%	
		総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
軽油使用量	目標	L		58670.79	58375.96	58081.14	57786.31	57491.48	57196.65	56901.82	56607.00
	実績	L	58965.62	51988.56	44390.16	48836.53	47224.15	33290.51			
原単位	目標	総量/売上高		123.26	122.64	122.02	121.40	120.78	120.16	119.54	118.92
	実績	総量/売上高	123.88	120.34	110.15	125.87	123.62	83.86			

< 負荷の取りまとめ表 >

<負荷の取りまとめ表>

軽油使用量については、
目標値を見直した結果 2018年度
より0.5%削減を目標としました。



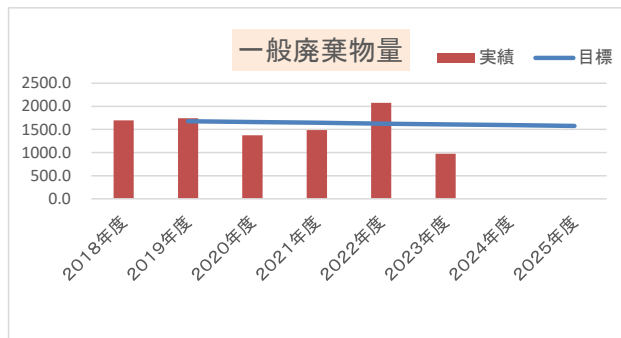
〈2023年度〉

アイドリングストップやエコドライブはまだ課題がある。社員教育の中に取り入れてもっと向上できるように努めたい。



			-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%	-6.00%	-7.00%	-8.00%	
		総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
一般廃棄物量	目標	kg	1677.9	1660.9	1644.0	1627.0	1610.1	1593.1	1576.2	1559.2	< 負荷の取りまとめ表 >
	実績	kg	1694.8	1740.9	1374.5	1486.6	2076.1	974.5			
原単位	目標	総量/売上高		3.52	3.49	3.45	3.42	3.38	3.35	3.31	3.28
	実績	総量/売上高	3.56	4.03	3.41	3.83	5.43	2.45			

<負荷の取りまとめ表>



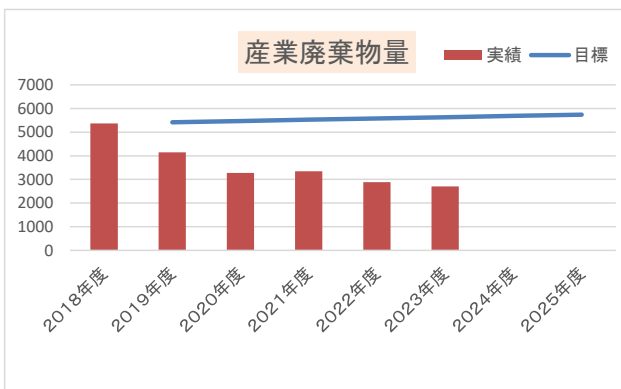
〈2023年度〉

一般廃棄物の年1%削減を
目標とし、達成できている。



		向上	1.00%	2.00%	3.00%	4.00%	5.00%	6.00%	7.00%	8.00%	
産業廃棄物量	目標	総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	実績	t	5416.26	5469.88	5523.51	5577.14	5630.76	5684.39	5738.01	5791.64	
	実績	t	5362.63	4149.78	3273.25	3346.01	2879.37	2699.59			
原単位	目標	総量/売上高	11.38	11.50	11.61	11.72	11.83	11.95	12.06	12.17	< 負荷の取りまとめ表 >
	実績	総量/売上高	11.27	9.61	8.12	8.62	7.54	6.80			
	実績	総量/売上高									

<負荷の取りまとめ表>



〈2023年度〉

・産業廃棄物の再資源化
年1%向上を目標とする。
が、近年 産業廃棄物量が
減少しているので比例して
いる。

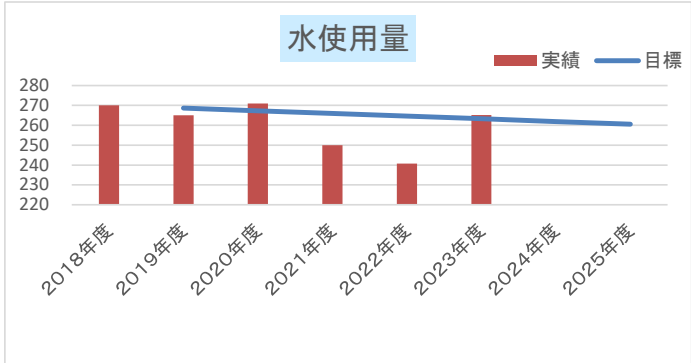


中期環境経営目標及び実績-3

			2018年度 -0.5%	2018年度 -1%	2018年度 -1.5%	2018年度 -2%	2018年度 -2.5%	2018年度 -3%	2018年度 -3.5%	2018年度 -4%	
水使用量	目標	総量	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	実績	m ³	270	265	271	250	240.77	265.1			
原単位	目標	総量/売上高	0.57	0.57	0.56	0.56	0.56	0.56	0.55	0.55	0.55
	実績	総量/売上高	0.57	0.61	0.67	0.64	0.63	0.67			

< 負荷の取りまとめ表 >

< 負荷の取りまとめ表 >



水使用量については、目標値を見直した結果 2018年度より0.5%削減を目標としました。

〈2023年度〉

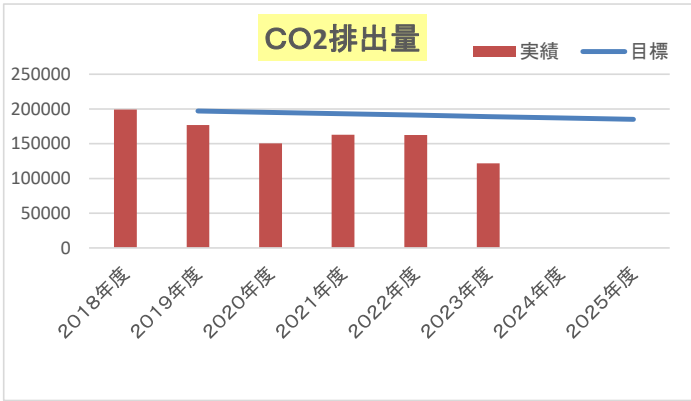
見直しの結果2018年の実績を基準とした中期目標を設定した。目標達成となった。



			-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%	-6.00%	-7.00%	-8.00%		
CO ²		原単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	電力 2017.8～静岡ガス&パワ-㈱ となり調整後排出係数0.462を使用 ＜負荷の取りまとめ表＞
	目標	kg-CO ₂		197064	195074	193083	191093	189102	187112	185121	183131	
	実績	kg-CO ₂	199055	176958	150412	162965	162470	121632				
原単位	目標	kg-CO ₂ /売上高	0.00	414.01	409.83	405.64	401.46	397.28	393.10	388.92	384.73	
	実績	kg-CO ₂ /売上高	418.19	409.62	373.23	420.01	425.31	306.38				

電力 2017.8～静岡ガス&パワー(株)となり調整後排出係数0.462を使用

< 負荷の取りまとめ表 >



〈2023年度〉

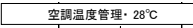
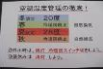
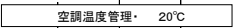
ガソリン・軽油の使用量が減ってきているので、CO₂排出量も比例している。

※化学物質の使用については、ラッカースプレーを使用しているが、使用量も少なく又、代替化を進めているが見つからないので、削減目標は設置せず日常管理とする

環境経営計画と実施・評価(2022年7月～2023年6月)

作成日 2022. 6. 30

※今年度も空調温度管理を夏場28℃にして、節エネルギーに取り組んでいきます。
 今後は各自LED蛍光灯の管理をし節電に努めます。
 グリーン製品の購入及び調達に取り組んでいきます。
 他の環境経営活動計画も昨年と同様に取り組んでいきます。

	環境経営目標	計画内容	実施部門 責任者	環境経営実施状況												評価
				2022年						2023年						
				7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
1	電力使用による CO ₂ 削減 〈目標〉 総電気使用量 2018年度比5%削減	 ①未使用時の消灯 ②昼休みの消灯 ③蛍光灯等省エネタイプへの買換え ④各自蛍光灯の管理 ⑤空調温度の管理 ⑥退社時又休日の OA機器は主電源を切る。 ⑦空調機のフィルターの清掃	岩田実穂	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥随時実施 ⑦随時実施	 扇風機の活用  各自LED蛍光灯の管理(個々に消灯で)  空調温度管理・28℃  空調温度の管理	未使用時の消灯 昼休みの消灯  空調温度管理・20℃ 空調機のフィルターの清掃	見直し改善 見直し改善 見直し改善 見直し改善	 2.8t天井クレーン適正使用							○	
2	燃料使用による CO ₂ 削減 〈目標〉 ①現場車輦、その他 車輦の燃料・・・ 2018年度比5%削減 ②ガスの削減・・・ 2018年度比5%削減	 ①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの推進 ③タイヤ空気圧の確認  ④給湯機温度管理 ⑤点検の実施	山本将巳 大川清々	①実施 ②実施 ③実施	 全車両にストラップを置く	アイドリングストップの徹底 エコドライブの推進 3ヵ月毎タイヤ空気圧の徹底	見直し改善 見直し改善 見直し改善								○	
3	産業廃棄物のリサイクル推進 2018年度比5%向上	 ①掘削土の発生を抑制する工 法の取り入れ 技術習得 ②再生材の使用 ・アスファルト・コンクリートの再資源化 ・使用済みガス管及びポリエチレン 管及び鉄くずのリサイクル推進	小林一夫 岡部博之	①実施 ②実施	 リサイクル推進	技術習得実施 再生材の使用及びリサイクル推進	見直し改善					 処分先の現地確認 前年4月～本年3月 産業廃棄物報告書類 作成及び報告			○	
4	廃棄物の削減 リサイクル推進 〈目標〉 2018年度比5%削減	 ①両面コピーの徹底 裏面の利用 ②資源ゴミとの分別の徹底 ③リサイクル化の検討	細川昌代 吉田伊津美	①実施 ②実施 ③実施	 ダンボール置場 リサイクル推進(分別を徹底し回収業者へ)	両面コピーの徹底 裏面の使用 資源ゴミとの分別徹底 リサイクル化の検討	見直し改善 見直し改善								○	
5	水資源使用量の削減 〈目標〉 2018年度比2.5%削減	 ①節水シール等の表示 ②節水駒の取付 ③こまめに水をためる。 ④雨水の貯留槽設置	吉田伊津美	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	 節水シール表示 新たに雨水の貯留槽設置	見直し改善									○	
6	環境に優しい施工	 ①社員の意識向上 ②管の位置確認 ③施工前の調査 ④工事施工時の水道管 破損の削減 ⑤環境にやさしい重機、車輛の使用 ⑥植木等生態系に配慮する	岩田実穂 小林一夫	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施	社員の意識向上の実施  排気に配慮する 低音重機	見直し改善 見直し改善 見直し改善	改善 検討	 コンパネを設置し植木等生態系に配慮する				 コンパネを設置し植木等生態系に配慮する			○	
7	ボランティア活動	①積極的な地域清掃の参加 ②会社周辺清掃及び構内緑化活動 ③現場周辺の清掃活動	岩田実穂	②実施 ③実施	会社周辺清掃随時 現場作業終了時の周辺の清掃活動随時	構内緑化活動開始→						構内緑化活動開始→			○	
8	購入品のグリーン調達	①積極的な購入品のグリーン調	細川昌代	①実施		見直し改善									○	

主要な環境経営計画の概要

①CO₂排出量削減

【電力】

- ・照明は昼休み、休憩時の消灯を徹底する。また、稼働時も点灯は必要最低限にする。
- ・蛍光灯等は省エネタイプへ買い替える。
- ・各自蛍光灯(LED)の管理を行う。
- ・退社時又は休日のOA機器の主電源を切る。
- ・空調温度の設定を、夏期は下限28℃に 冬は上限温度を20℃とする。
- ・空調機のフィルターを清掃する。
- ・最新の空調を導入しました。
- ・コンプレッサーの稼働を必要な時、必要な場所のみに制限する。

【都市ガス】

- ・点検の実施
- ・H29.1より都市ガスへ再移行

【ガソリン】【軽油】

- ・アイドリングストップを徹底する。
- ・エコドライブの推進
- ・タイヤ空気圧の確認
- ・車別走行管理の実施
- ・全車両にCO₂削減ストラップを置き
エコドライブへの意識向上に努める。
- ・環境にやさしい重機 車輛を使用する。
- ・重機の排気に配慮する。



環境にやさしい低音重機を使用し、排気にも配慮する。



各自LED蛍光灯の管理をし、節電に努めました。



各自でON・OFFに努めました。



最新の空調を導入しました

②廃棄物の削減

【産業廃棄物のリサイクル推進】

- ・掘削土の発生を抑制する工法の取り入れを検討する。
- ・積極的に再生材の購入をする。
- ・アスファルト殻コンクリート殻のリサイクル化をする。
- ・使用済みのガス管及びポリエチレン管のリサイクル化をする。

【一般廃棄物の削減】

- ・資源ゴミとの分別を徹底する。
- ・リサイクル化の検討
- ・両面コピー、裏紙使用を徹底する。
- ・積極的にグリーン製品を購入する。

③水資源使用料の削減

- ・水道の使用場所に節水シール等を掲示して節水を呼びかける。
- ・水道の蛇口に節水コマを取り付ける。
- ・こまめに水をためる。
- ・定期的な漏水点検の実施を検討する。
- ・雨水の貯留槽を設置し雨水利用を行う。



④環境に優しい施工

【工事施工時の水道管破損の削減】

- ・図面で水道管及び取出し管の位置を確認する
- ・近隣住民に取り出し管の位置を確認する。
- ・掘削時に地山の状態などの目視及び手掘り掘削により水道管及び不明管の調査をし確認する。

【環境に配慮した施工】

- ・コンパネを設置し植木等の環境を保護する。



コンパネを設置し 植木等の環境を保護する

⑤ボランティア活動の推進

- ・積極的な地域清掃の参加

⑥購入品のグリーン調達

- ・積極的に購入品のグリーン調達をする。

⑦化学物質の日常管理

- ・化学物質の購入量と使用量と在庫管理をしています。

取組結果の評価と次年度の取組内容

2018年度(2017年7月～2018年6月)を基準とし、2023年度(2022年7月～2023年6月)の目標とその実績について、その評価を行った。
 都市ガスへ再移行の為、2014年度(都市ガス)を基準としました。
 ガソリン軽油・水は、目標値を見直した結果、2018年度を基準としました。
 ※二酸化炭素排出係数は、平成28年静岡ガス&パワー(株)の調整後排出係数(0.462kg-CO2/kWh)を使用しました。

取組項目	内 訳	達成状況		原単位 CO2 基準年度比	評価と次年度の取組 是正処置含む
CO2排出量の削減	電力 使用量 完成工事高	2018基準	9.54	kg-CO2	目標達成×
		目標	8.78	92.00%	目標削減8.0%のところ12.26%増となった。
		実績	10.71	112.26%	夏場の猛暑、コロナ対策の為、目標未達。 是正は、対応が難しいので様子見とする。 今まで以上に無駄を無くし、目標を達成していきたい。
	都市ガス 使用量 完成工事高	2018基準	0.74	kg-CO2	目標達成○
		目標	0.71	94.00%	目標削減6.0%のところ63.51%削減となった。
		実績	0.27	36.49%	2017年1月よりLPGガスから都市ガスに再移行した。2014年度から都市ガスに変更し、少しずつではあるが減少出来ていると思うので継続していきたい。
	現場 ダンプ 重機 収集運搬車輛 ガソリン	2018基準	81.98	kg-CO2	目標達成○
		目標	79.52	97.00%	目標削減3%のところ5.32%削減となった。
		実績	77.62	94.68%	毎月車別の走行距離の調査と、ガソリン使用量の確認をしている。 又、タイヤ空気圧の点検は車輛点検時に実施できているが、 アイドリングストップやエコドライブはまだ課題がある。 社員教育の中に取り入れてもっと向上できるように努めたい。
	使用量 完成工事高 軽油	2018基準	325.10	kg-CO2	目標達成○
		目標	315.35	97.00%	目標削減3%のところ33.45%削減となった。
		実績	216.35	66.55%	毎月車別の走行距離の調査と、ガソリン使用量の確認をしている。 又、タイヤ空気圧の点検は車輛点検時に実施できているが、 アイドリングストップやエコドライブはまだ課題がある。 社員教育の中に取り入れてもっと向上できるように努めたい。
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物リサイクルの推進 排出量 完成工事高	2018基準	11.26	t	目標達成○
		目標	12.16	108.00%	目標7%削減のところ39.70%削減となった。
		実績	6.79	60.30%	今後も排出された産業廃棄物は確実にリサイクルしていきます。 掘削土の発生を抑制する工法を取入れ施工している。 現在再生材(合材)を使用している。 使用済みのガス管及びポリエチレン管は、指定された長さに切断し、 リサイクル置場へ運びリサイクルの推進に努めている。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減 排出量 完成工事高	2018基準	3.56	kg	目標達成○
		目標	3.28	92.00%	目標削減率7.0%のところ31.18%削減となった。
		実績	2.45	68.82%	コピーの裏面利用が定着し、印刷時もう一度確認して 印刷をする様に心掛けていければ今より削減できると思います。 2022年度も継続して取り組みたい。
水使用量の削減	水使用量 使用量 完成工事高	2018基準	0.57	m ³	目標達成×
		目標	0.55	97.00%	目標削減2.5%のところ17.54%増となった。
		実績	0.67	117.54%	基準年度を2017年度に見直した結果と思われる。 今後も、雨水槽を利用し、恵まれた富士の水資源を大切にしよう。
環境に優しい 施工	水道管破損の減少 破損件数 工事施工件数	2018基準	0.113	件	目標達成○
		目標	0.104	92.00%	目標削減率8.0%のところ82.30%削減となった。
		実績	0.020	17.70%	水道管破損件数は、減少した。今以上に水道管の取出位置確認と掘削 時の地山の状態などの目視確認及び手掘確認で破損件数の減少に努めたい。
	環境にやさしい 重機車輛の使用	2018基準		台	目標達成○
		目標	1.00		車輛、重機を排気ガス基準適合車及び燃費基準達成車に徐々に入替える
		実績	4.00		
ボランティア活動の推進		2018基準	0.00	回	目標達成○
		目標	1.00		会社の前のゴミ収集場所の掃除を実施。
		実績	1.00		
購入品のグリーン調達		2018基準		件	目標達成○
		目標	3.00		積極的なグリーン製品の購入が出来ている。
		実績	3.00		今後も推進していきたい。

※次年度目標:変更なし

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

A. 環境関連法規等の遵守状況

当社に関連する主な環境関連法規は下記の通りです。また、法律、条例等、最終改正日を調査した結果、廃棄物法が平成24年8月に改定されましたが、当社に該当するものではありません。
環境関連法規の遵守状況は、令和5年6月 下記チェック項目を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守確認日 令和5年6月30日

種類	規制事項	遵守事項	適用法規	チェック項目	遵守状況
 廃棄物	一般廃棄物 ・ 廃棄物の適正処理	・ 廃棄物の減量及び分別	【 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 】 ・ 同法3条 1項、2項、3項	エコアクション 集計報告書確認	○
	産業廃棄物 ・ 廃棄物の適正処理 ・ 産業廃棄物の委託基準	・ 処理の状況に関する確認 ・ 産業廃棄物の運搬又は処分(再生含む)の委託は、委託基準に従い運搬又は処分(再生含む)の業の資格を有する者とのそれぞれの委託契約に基づく	・ 同法12条7項 ・ 同法12条5項、6項 ・ 同令6条2 1号、2号、4号	処分先の確認	R5.6.23報告 現地確認
	・ 産業廃棄物管理票	・ 改正マニフェストを発行し、収集 運搬業者及び処分業者にに対し、明確に指示	・ 同法12条の3 ・ 同規則8条20	委託契約書の確認	○
	・ 産業廃棄物管理票の報告	・ 該当管理票に関する報告を、6月末までに知事に報告(前年4月～当年3月)の一年間	・ 同法12条3 7項 ・ 同規則8条の27	マニフェスト内容確認	○
	・ 産業廃棄物処理計画書の報告	・ 多量排出事業者は(前年1000トン以上排出)、産業廃棄物の減量その他処理に関する計画書及び計画実施状況報告書を作成し知事に提出しなければならない	・ 同法12条9項 同法12条10項	交付状況報告 運搬実績報告 処理計画書提出	R5.6.15報告 R5.6.15報告 R5.6.15報告
	・ 産業廃棄物管理票の保存	・ 5年間の保存 ・ 運搬又は処分の委託業者も保存	・ 同法12条の3 6項、9項、10項 ・ 同規則8条の26、30、30の2	処理計画実施状況提出	R5.6.15報告
	・ 委託契約書の保存	・ 5年間の保存 ・ 運搬又は処分の委託業者も保存	・ 同令6条の2 5号、6号 ・ 同規則8条の4 3号、4号	マニフェスト適正管理	○
	・ 委託処理と電子マニフェストシステム	・ 処理状況を紙マニフェスト又は電子マニフェストのどちらかを使用して最終処分の終了を確認する。	・ 同法12条の3 ・ 同法12条5	委託契約書の管理	○
	・ 収集運搬業	・ 適正な処理が困難・困難となる恐れのある時は、遅滞なく事業者に書面で通知しなければならない。	・ 同法14条13項	紙及び電子マニフェスト確認	○
				該当なし	—
 リサイクル	建設リサイクル ・ 対象建築工事	・ 政令で定め、都道府県は条例で基準を定めることができる(土木工事500万円以上)	【 建設リサイクル法 】 ・ 同法9条1項、3項、4項 同令2条4項	対象工事の確認	○
	・ 工事の届出(発注者)(請負者)	・ 工事着手日の7日前までに都道府県知事に届出 ・ 発注者に説明書提出 終了後再資源化報告書提出	・ 同法10条 ・ 同法12条1項 同法18条1項	届出作成	○
	・ 分別解体等の実施	・ 土木工事によって生じる建設資材廃棄物を種類ごとに分別しつつ施工する。	・ 同法2条3項、9条2項 ・ 同規則2条	廃棄物の分別	○
	・ 再資源化等	・ 建設資材廃棄物を資材又は原材料として利用できる状態、及び燃焼様に利用できる状態にする行為並びに「焼却、脱水圧縮その他の方法により大きさを減ずる行為」とする。	・ 同法2条4項、7項 ・ 同法16条 ・ 同規則3条、4条	再利用励行	○
	再生資源利用計画 ・ 指定建設資材と搬入量	・ 土砂:1000㎡以上 ・ 砕石:500t以上 ・ 加熱アスファルト混合物:200t以上	【 再生資源利用省令 】 ・ 同省令8条1項	対象工事の確認	○
	・ 作成事項	・ 指定建設資材ごとの利用料 ・ 同利用量のうち再生資源の種類ごとの利用料 ・ その他再生資源の利用に関する事項	・ 同省令8条2項	再資源化等	○
	・ 作成時期	・ あらかじめ作成すること	・ 同省令8条1項	届出確認	○
	・ 実施状況の記録と保存	・ 建設工事の完成後速やかに実施状況を記録すること ・ 該当計画及びその実施状況の記録は完成後1年間保存すること	・ 同省令8条3項 ・ 同省令8条4項	報告書の作成及び管理	○
 騒音	特定建設作業 ・ 対象作業	・ さく岩機 ・ バックホウ 定格出力80KW以上 ・ トラクターショベル 定格出力70KW以上 ・ ブルドーザー 定格出力40KW以上	【 騒音規制法 】 ・ 同法2条3項 同令2条 ・ 低騒音型低振動型機械の指定に関する規定 建設省告示第1536号(平成9年7月31日)	対象作業の確認	○
	・ 作業の届出	・ 知事(又は市町村長)へ7日前までに届出様式第9号(但し当該作業が開始日に終了するものは除く) 無届出又は虚偽届出者は、3万円以下の罰金	・ 同法14条 同規則10条 ・ 同令2条 ・ 同法31条	届出書作成確認	○
	・ 騒音の基準	・ 作業敷地の境界線において 85デシベル以下(但し作業時間 期間の規定 並びに道路法 道路交通法等の除外規定有)	・ 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 厚生省・建設省告示1号(平成12年3月28日改定)	苦情なし	○
	適用指定地域 特定建設作業 ・ 対象作業	・ 知事又は政令指定都市の長による地域指定	【 振動規制法 】 ・ 同法2条3項 同令2条 ・ 低騒音型低振動型機械の指定に関する規定 建設省告示台1536号	適用地域確認	
	・ 作業の届出	・ 知事(又は市町村長)へ7日前までに届出様式第9号(但し当該作業が開始日に終了するものは除く) 無届出又は虚偽届出者は、10万円以下の罰金	・ 同法14条 同規則10条 ・ 同令2条 ・ 同法27条	対象作業の確認	○
	・ 振動の基準	・ 作業敷地の境界線において 75デシベル以下(但し作業時間 期間の規定 並びに道路法 道路交通法等の除外規定有)	・ 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	届出書作成確認	○
				苦情なし	○
 大気汚染その他	2.8t天井クレーン 	・ 3t以上の場合 ・ 設置届 落成検査 検査証の有効期限2年 ・ 特定自主検査 ・ クレーン取扱い業務の特別教育 玉掛技能講習	【 労働安全衛生法 】3t以上の場合 ・ 同法第5条 第6条 第10条 同法第35条 【 クレーン等安全規則 】 同法第21条 221条	2.8t天井クレーン 届出確認 必要無 自主検査確認 必要無 資格証確認掲示	対象外 対象外 ○
	大気汚染防止 	・ 排出窒素酸化物等の排出量の抑制 ・ 環境にやさしい重機車輛の使用 ・ 適正運転の実施	【 大気汚染防止法 】 ・ 同法21条の2	走行距離調査	○
	グリーン調達実施	・ 環境への負荷の低減に資する原材料 ・ 再生紙、コピー紙、その他文房具	【 グリーン購入法 】同法2条1項、2項 同法5条、6条	エコアクション 集計報告書確認	○
	フロン排出抑制	・ 3ヶ月に1回以上簡易点検	【 フロン排出抑制法 】 ・ 同法16条	簡易点検異常無	○

B. 違反、訴訟等の有無

過去3年間に於いて、関係機関からの指摘及び訴訟も有りません。
近隣住民からの指摘、苦情については迅速に対処すると共にその原因を無くす様努力して行きます。

代表者による 全体評価と 見直しの結果

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項																																	
[取組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の順守状況 遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 引き続き 経費削減に努力しよう。 ③前回社長の指示事項の取組結果 気を引き締めて継続してほしい。 <改善への提案> 都市ガスに転換したので、基準年度を更新した。				[経営方針] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 ・変更無																																	
[目標・環境経営計画の達成状況] (詳細は環境経営計画書による)				[目標・経営計画] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 ・変更無																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動 計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力の削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>監視</td> </tr> <tr> <td>ガスの削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>ガソリンの削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>軽油の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>継続</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動 計画に対するコメント)	電力の削減	×	○	監視	ガスの削減	○	○	継続	ガソリンの削減	○	○	継続	軽油の削減	○	○	継続	一般廃棄物の削減	○	○	継続	産業廃棄物の削減	○	○	継続	節水	○	○	継続	[実施体制・その他] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 ・変更無	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動 計画に対するコメント)																																		
電力の削減	×	○	監視																																		
ガスの削減	○	○	継続																																		
ガソリンの削減	○	○	継続																																		
軽油の削減	○	○	継続																																		
一般廃棄物の削減	○	○	継続																																		
産業廃棄物の削減	○	○	継続																																		
節水	○	○	継続																																		
<改善への提案> 監視を継続する。				[総括] 初心に戻り 当初の目標に 向かっているか 再確認し 皆で一緒に活動しよう。																																	
[外部からの苦情の有無] 外部からの苦情等の記録より 有 <改善への提案> 真心を持って対応しよう。 必ず伝わるはずだ。																																					

2023年 7月28日

株式会社 岩建 代表取締役 岩田 初彦

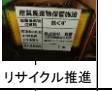
北極では地球温暖化の影響で猛スピードで流氷が解けていることを知っているだろうか。
 遠い話ではない。海水がなくなると太陽熱の反射が弱まりますます温暖化が加速する。
 未来を守る為に努力を惜しまず次世代に繋げよう。



次年度の環境経営目標及び環境経営計画(2023年7月～2024年6月)

作成日 2023. 6. 30

※今年度も空調温度管理を夏場28℃にして、節エネルギーに取り組んでいきます。
 今後は各自LED蛍光灯の管理をし節電に努めます。
 グリーン製品の購入及び調達に取り組んでいきます。
 他の環境経営活動計画も昨年と同様に取り組んでいきます。

環境経営目標	実施事項	実施部門 責任者	環境経営計画											
			2023年						2024年					
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1 電力使用による CO ₂ 削減 〈目標〉 総電気使用量 2018年度比6%削減	①未使用時の消灯 ②昼休みの消灯 ③蛍光灯等省エネタイプへの買換え ④各自蛍光灯の管理 ⑤空調温度の管理 ⑥退社時又休日の OA機器は主電源を切る。 ⑦空調機のフィルターの清掃	岩田実穂	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥随時実施 ⑦随時実施	 扇風機の活用	 未使用時の消灯 昼休みの消灯	各自LED蛍光灯の管理(個々に消灯で)	見直し改善 見直し改善 見直し改善	空調温度管理・28℃ 空調温度管理・20℃	見直し改善 見直し改善	 2.8t天井クレーン適正使用				
2 燃料使用による CO ₂ 削減 〈目標〉 ①現場車輛、その他 車輛の燃料・・・ 2018年度比6%削減 ②ガスの削減・・・ 2018年度比6%削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの推進 ③タイヤ空気圧の確認 ④給湯機温度管理 ⑤点検の実施	入江謙二 大川清々	①実施 ②実施 ③実施	 全車両にストラップを置く	アイドリングストップの徹底 エコドライブの推進 3ヵ月毎タイヤ空気圧の徹底	見直し改善 見直し改善 見直し改善	季節毎温度管理推進 給湯器設置者(自社)随時点検							
3 産業廃棄物のリサイクル推進 2018年度比6%向上	①掘削土の発生を抑制する工 法の取り入れ 技術習得 ②再生材の使用 ・アスファルト・コンクリートの再資源化 ・使用済みガス管及びポリエチレン 管及び鉄くずのリサイクル推進	小林一夫 岡部博之	①実施 ②実施	 リサイクル推進	技術習得実施 再生材の使用及びリサイクル推進	見直し改善 見直し改善				 処分先の現地確認 前年4月～本年3月 産業廃棄物報告書類 作成及び報告				
4 廃棄物の削減 リサイクル推進 〈目標〉 2018年度比6%削減	①両面コピーの徹底 裏面の利用 ②資源ゴミとの分別の徹底 ③リサイクル化の検討	細川昌代 吉田伊津美	①実施 ②実施 ③実施	 ダンボール置場 リサイクル推進(分別を徹底し回収業者へ)	両面コピーの徹底 裏面の使用 資源ゴミとの分別徹底 リサイクル化の検討	見直し改善 見直し改善								
5 水資源使用量の削減 〈目標〉 2018年度比3%削減	①節水シール等の表示 ②節水駒の取付 ③こまめに水をためる。 ④雨水の貯留槽設置	吉田伊津美	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	 節水シール表示 新たに雨水の貯留槽設置	見直し改善									
6 環境に優しい施工	①社員の意識向上 ②管の位置確認 ③施工前の調査 ④工事施工時の水道管 破損の削減 ⑤環境にやさしい重機、車輛の使用 ⑥植木等生態系に配慮する	岩田実穂 小林一夫	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施	社員の意識向上の実施  排気に配慮する 低音重機	見直し改善 見直し改善 見直し改善	改善 検討	 コンパネを設置し植木等生態系に配慮する							
7 ボランティア活動	①積極的な地域清掃の参加 ②会社周辺清掃及び構内緑化活 ③現場周辺の清掃活動	岩田実穂	②実施 ③実施	会社周辺清掃随時 現場作業終了時の周辺の清掃活動随時	構内緑化活動開始→									
8 購入品のグリーン調達	①積極的な購入品のグリーン調	細川昌代	①実施		見直し改善									